

平成25年度第3回観光振興官民協働委員会議事概要

日 時	平成25年11月8日（金） 14:00～16:30
会 場	佐渡島開発総合センター 2階 第2会議室
出席者	民間：菅野、松田、藤木 観光協会：加藤、地域振興局：後藤課長（代理） 佐渡市：観光振興課 越前、金子 計7名
議 題	① 平成25年度事業実施状況について ② 平成26年度事業計画等について ③ その他（次回等開催日）
議事概要	<p>① 平成25年度事業実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光データ調査分析事業 （ギャップ調査結果報告） ・ 現状の主要来訪者は新潟県、首都圏。北陸中部関西圏からの旅行者少ない。4回以上来訪するミドルからヘビーリピーター層が少ない。 ・ 旅行者の移動手段は乗用車が主流。 ・ 佐渡のイメージの固定化。特に新潟県外居住者に強い傾向。 ・ 観光コンテンツ、及び食資源どちらも認知度は低く、関心度は高い構造。 特に新潟県エリアの差は顕著。ターゲットごとに戦略資源を決めて情報発信する必要がある。 <p>② 平成26年度新たな企画提案について</p> <p>1) 佐渡の食による宿泊の満足度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題：旅行会社の低価格商品に対するため、仕入れ単価の高い佐渡食材を使った料理の提供ができず、顧客満足度やリピーター率が低下している。 旅行会社等への依存度が高く、ホテル等の自社努力が低下している。 <p style="text-align: center;">JTBのパンフレットには、宿のランク付けが入っている。</p> <p>当社でも契約ホテルの評価があり、一定の点数に満たないホテルについては、契約を解除する方向が打ち出されてきている。お客様の苦情で、簡単に対応できること例えば部屋に虫がいたなどについては、当該ホテルに話をして改善するよう伝えているが、伝えても改善がみられないホテルも中にはある。また、食材についても多少単価が上がっても地物を活用してもらった方がお客様の評価が高くなるので（クレーム件数が減少する）、一定以上の満足度を確保する動きになってきている。</p>

・目的：リピーター率と宿泊施設の魅力向上、宿泊単価の向上、地産地消の推進、宿泊施設と旅行会社の協働商品の創設

(1) 佐渡グルメ造成

佐渡の食材を使った商品造成による宿泊単価アップと宿泊満足度の向上を図るため、利用者（旅行会社）からの意見を受ける機会を設けるとともに、旅行会社との連携による「佐渡グルメ」商品の企画販売を支援する必要がある。

(2) インターネット予約サイトを活用した満足度アップ

インターネットの予約サイトによる予約の比率が急速に高まっており、セミナーの開催による口コミ対策や評価ポイントアップ対策による満足度アップと特集ページの掲出による更なる誘客を図る必要がある。

2) 新潟DC・北陸新幹線開業誘客宣伝

課題：関東・関西圏に向けた周知PRの強化、周遊コースの整備、小木半島循環バス運行及び利用促進のための雰囲気づくり。

目的：平成26年度の新潟ディステーション・北陸新幹線開業に向けた誘客及び観光客のニーズに合わせた二次交通の整備。

(1) 小木半島循環バス運行

今後、JR東日本のCM効果で増客が見込まれる小木半島は、廻る路線バスがないため、矢島経島・宿根木町並み・沢崎ジオサイト・佐渡太鼓体験交流会館などなどを回る循環バスを運行が必要である。

(2) ラッピングバスでの誘客

新潟交通佐渡の路線バスにラッピングを行い、佐渡島内を運行し、観光PRと観光客アップによる路線バスの利用促進を図る必要がある。

3) 佐渡三大資産PR・誘客促進

課題：各種ガイドボランティアが固定化している。これから佐渡三大資産を活用しガイド需要に対し安定した供給が課題である。また、地域に埋もれている観光資源となり得る素材を磨き上げ、旅行商品として企画販売するには、地域と旅行会社等を繋ぐプラットフォーム機能が必要不可欠であり、それを推進し運営するための中核的人材を育てる取り組みが必要である。

目的：世界遺産・ジラス・ジオパークの佐渡三大資産をPRするためガイドの活用による誘客促進を図り、リピーターを増加させる。島内二次交通対策としてマイカー・レンタカーの利用を促進させる。

また、地域と一体となった地域観光を推進するための受入態

	<p>勢構築に係る人材育成を推進する。</p> <p>(1) まち歩きガイド活用人材育成 個人客のマイカー・レンタカー利用促進するため、旅行会社のマイカーやレンタカープランにエンジョイプランのまち歩きコースを無料参加の特典を付ける。</p> <p>(2) 佐渡三大資産ガイド活用人材育成 旅行会社等を巻き込んで佐渡での滞在日数を延ばすための2泊3日以上旅行商品に支援を行う必要がある。三大資産を紹介するガイド付きの商品造成を行い、そのPRとガイドの安定的な活躍の場を創出することにより、ガイドの研鑽・活用を促進する必要がある。</p> <p>③ その他（次回等開催日）の確認 ・第4回委員会については、後日調整することとした。</p>
<p>次回検討 事項</p>	<p>・H26年度事業計画について</p>